# COVID-19について

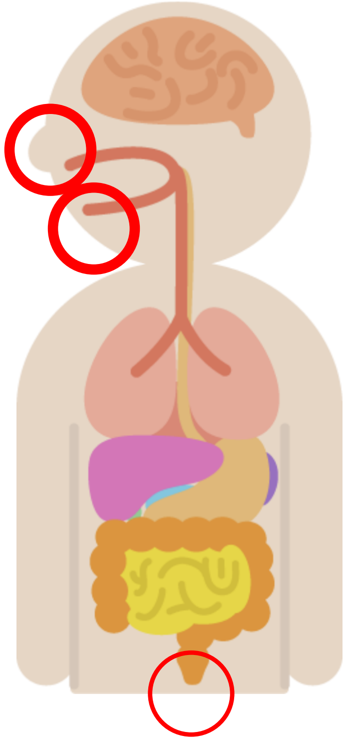


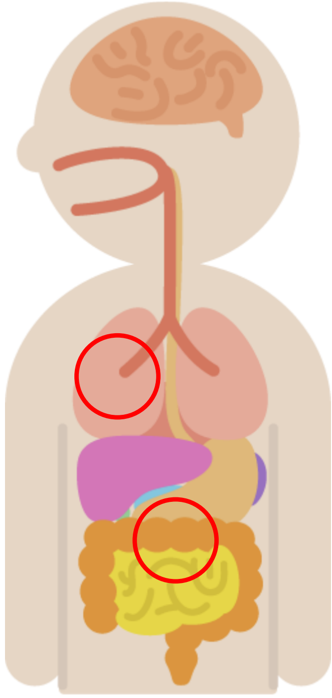
図１　**感染可能部位**
（ウィルスを排出する部位）

- ●鼻腔
- ●口腔
- ●肛門

※倦怠感、風邪様症状の他、
　味覚や臭覚の異常に注意

被感染可能部位
（ウィルスを取り込む部位）

- ●鼻腔
- ●口腔



**専門的な治療について**

●肺炎　→　肺炎に対する治療、アビガン投与等
重症の場合は、
人工呼吸器、ECMO等の
設備が必要

●腸炎　→　軽症であれば、整腸剤（ミヤリサン）投与等で
経過観察
重症で、脱水のおそれがある場合は輸液

図２　**一般の人には手に負えない可能性がある感染部位**

●肺（肺炎）：自覚症状は発熱、咳、呼吸困難（息苦しい）等
●消化器（腸炎、嘔吐、下痢、発症者の10～40%に症状あり）

ウィルスが鼻腔や咽頭（扁桃腺周辺）に留まる
場合は、うがい、鼻うがい、安静等
一般的に風邪に行う家庭療法でも対応が
可能です。

ただし、いわゆる「ぶり返し」が起きる可能性がありますので、
「良くなった」と思っても、１～２週間の注意が必要です。

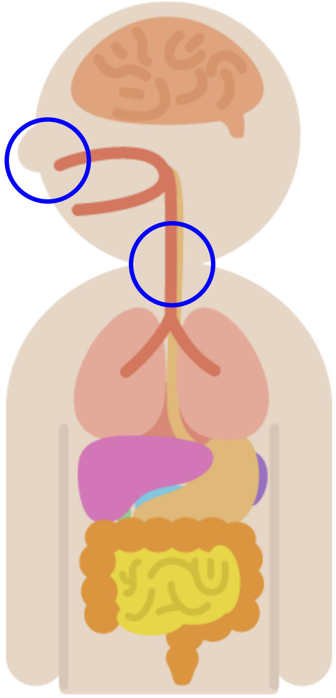


図３　**PCR検査部位**

- ●上気道
- ●鼻腔

**問題点**

鼻腔・上気道からの排菌と
肛門からの排菌にタイムラグが
あるかないかが判明していません。

症状が消え、
鼻腔からの排菌が陰性となっても
肛門からの排菌が続けば
その人は感染源となり得ます。
いわゆる「無症状保菌者」です。

# COVID-19について

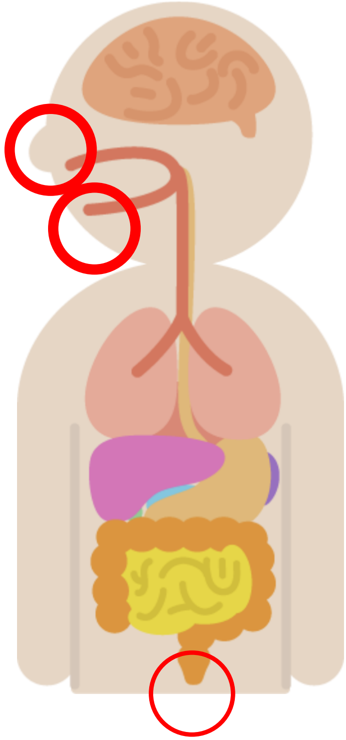


図１　**感染可能部位**
（ウィルスを排出する部位）

●鼻腔
●口腔
●肛門

被感染可能部位
（ウィルスを取り込む部位）

●鼻腔
●口腔

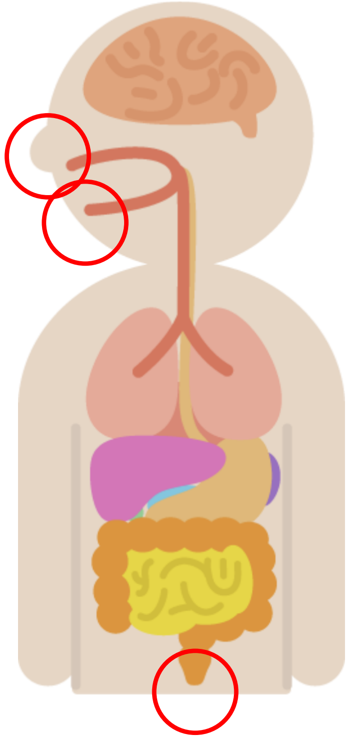


図４　**感染予防について**

移すこと・移されることの予防

●うがい（口腔内を清潔に保ち、ウィルス・細菌の数を減らす効果が期待されます。）
●歯磨き（同上）

●手洗い：鼻、口、トイレ、他人、他人の触れた物に触れた場合、
手洗いをすることで、接触するウィルスの数を減らすことが期待されます。
手は間接的な感染の媒介として非常に重要な部位です。

移すことの予防
●マスク
●咳エチケット等

**公衆トイレについて**

トイレの水を流す際の「エアロゾル化」に注意する。

蓋を閉めて水を流すこと

ドアのノブやレバーなどに直接触れることを避けるため、
ゴム手袋を着用したり、ペーパータオルを用いることも有効

トイレを済ませたら石けんなどで十分に手を洗うこと

新型コロナウイルスに感染している家族や友人と同じトイレを
利用する場合は、常にアルコール入りの消毒液で、
便座やドアノブなどを消毒すること
（以上、https://forbesjapan.com/articles/detail/33491より）

私は個人的に、COVID-19でしばしば見られる「ぶり返し」
（陰性化患者の再陽性化）については、風邪・肺炎の症状が
収まったあとの、肛門からの自家感染ではないかと疑っています。
一人暮らしの方も、「自分自身」にご注意下さい。

また、日本で比較的R0が低いのは、トイレの便座を消毒する
週間があるからではないかと想像しています。